

## エシカルメニュー販売オープニングイベント 知事挨拶

皆さん、こんにちは。  
本日は、「エシカルメニュー」の販売オープニングイベントにお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今日から5日間、ここ県庁職員食堂で、「エシカル消費」の普及啓発の取組の一環として、職員、県民の皆さんに対し、「エシカルメニュー」を販売いたします。

まずもって、メニューを考案された山口県立大学の進藤准教授さん並びに、YPU TFT Project (リノベーション・ティエティー・プロジェクト) の皆様、調理・販売をされる一般財団法人学校福祉協会の皆様の多大なる御理解、御尽力に対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、「エシカル消費」とは、消費者が、環境や人・社会、地域に配慮して作られた商品を積極的に購入することによって、環境や地域、開発途上国などにおける様々な課題の解決に貢献していくという、思いやりのある“やさしい”消費のことをいいます。

私は、県民一人ひとりが、こうした消費行動を常に心掛け、実行することが、より良い社会づくり、ひいては県民の暮らしの豊かさの向上につながると確信しており、昨年、私が「山口エシカル宣言」を行い、自ら先頭に立って「エシカル消費」を進めているところです。

これまでも、体験型イベントやガイドブックの作成・配布などにより、「エシカル消費」が県民の皆さんに広がるよう努めてきましたが、このたびのエシカルメニューの販売を契機として、本日お集りの皆様との連携を更に密にしながら、なお一層の普及啓発に取り組んでいきたいと考えています。

本日は、私も皆さんとともに、ヘルシー、地産・地消、途上国支援などエシカルの要素がふんだんに盛り込まれた料理を、楽しみたいと思います。

今すぐできる、誰にでもできる社会貢献としての「エシカル消費」が、今後、県内全域で、県民の皆さんに浸透していくことを強く期待いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

令和元年12月16日

山口県知事 村岡 嗣政